

## 20年度幸区協働推進事業実施結果一覧

### 1 安全で快適に暮らすまちづくり事業

(1)	事業名	目的及び内容	成果・達成度	決算額(円)	21年度以降の事業計画	21年度への展開方針
	地域防災活動の推進事業 (地域振興課・衛生課)	市民の防災知識の普及・啓発、防災意識の高揚を図るとともに、災害発生時に避難所運営会議、防災ネットワーク連絡会議が速やかに立ち上がるよう地域防災力の強化を図ります。避難所運営マニュアルDVD・防災マップ・災害時啓発リーフレットを作成し、防災フェアを実施します。	<p>避難所運営会議立上げに資するため、マニュアルDVDは非常に有効でした。防災マップは避難場所の一部修正により日本語版64,000部を作製し、全戸配布しました。外国語版3,000部は、窓口で必要に応じて配布しています。防災フェアは11/12・13の2日間開催し、地域防災活動を担う団体のパネル展示、救急ボランティアによるAED講習等400名以上の参加がありました。図上防災研修会は43名の参加を得、真剣な討論がありました。</p> <p>また、災害時における感染症、食中毒、水の確保に関する対応啓発リーフレットを作成し、防災フェアや防災訓練で配布・啓発を行いました。小冊子(災害時の衛生管理)を、小中学校等を通じ1万部配布し、平常時からの生活衛生知識の普及・啓発を行いました。</p>	4,694,377	見直し・改善のうえ継続	<p>啓発事業を通じて避難所運営会議の充実を図り、避難所運営マニュアルの課題出し・検証作業をするための避難所開設訓練を実施します。また、災害時要援護者避難支援制度の支援組織づくりを進めます。</p> <p>災害時の衛生管理について、区内で開催される地区防災会議・防災訓練などで普及啓発を継続するとともに、地区防災組織の意見などを反映した内容の改訂を行います。さらに、具体的な運営マニュアル(避難所における食品衛生担当者のためのハンドブック)の作成を行います。</p>
	安全・安心まちづくり普及啓発事業 (地域振興課)	区民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指すため、「自分たちの町は自分たちで守る」の精神を住民一人ひとりが持つよう、街頭キャンペーンや防犯教室を実施するとともに、区民祭・消防フェアのイベントに出展します。	<p>20年度に幸区安全・安心まちづくりのホームページを開設し、犯罪情報や防犯啓発活動の取組を速やかに情報発信しました。</p> <p>街頭キャンペーンを平成20年10月10日に鹿島田駅前にて実施しました。幸防犯協会、幸防犯指導員会、幸警察署等50名が参加し、啓発品及びチラシを約1,000部配布しました。</p> <p>10月18日に区民祭、11月9日に消防フェアにそれぞれ参加しました。</p> <p>年末キャンペーンを12月10日にラゾーナ広場にて実施しました。幸防犯協会、幸防犯指導員会、幸警察署等80名が参加し、啓発品及びチラシを約1,500部配布しました。</p> <p>防犯教室を11月29日に小倉公会堂で開催しました。県くらし安全指導員を講師として、小倉地区の70歳以上の高齢者が約80名参加しました。</p>	413,921	見直し・改善のうえ継続	<p>警察、行政、地域住民組織等の連携・協働により空巢、ひったくり、放火などの犯罪等を防止し、安全で安心して暮らすことのできるまちづくりの推進を図るため、防犯パトロール、街頭キャンペーン、防犯教室等啓発活動を実施するとともに、ホームページの充実を図ります。</p>
	交通安全の普及啓発事業 (地域振興課)	自転車事故を減らし、安全で住み良い幸区の実現を目指し、各季の交通安全運動のキャンペーン時に、自転車取付け反射板やチラシを配布するとともに、区内の全小学校の1年生・3年生に対して、歩行教室・自転車教室等交通安全教室を実施します。	<p>4月の春の交通安全運動期間中に、区内各小学校にて新入学おめでとうキャンペーンを実施しました。また、7月の夏の交通事故防止運動期間中には南河原公園にて、9月の秋の交通安全運動期間中にはJR鹿島田駅周辺にて、さらに、12月の年末の交通事故防止運動期間中にはラゾーナ川崎プラザにて、それぞれ交通安全キャンペーンを実施しました。</p> <p>4月から6月にかけて区内全小学校の1年生と3年生に対し交通安全教室を実施し、交通ルールとマナーの学習を行いました。</p>	1,801,899	見直し・改善のうえ継続	<p>各季の交通安全運動をはじめとして、年間を通じて各地域でも交通安全啓発ができるように、区PTA協議会、関係団体、地域住民組織等と連携し、今後も継続して啓発活動を行っていきます。</p>



AED講習会



小冊子「災害時の衛生管理」



12月キャンペーン



交通安全教室

事業名	目的及び内容	成果・達成度	決算額(円)	21年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
(4) さいわい動物愛護推進事業 (衛生課)	動物愛護思想の普及啓発を推し進め、子供たちの心に命の尊さを育むとともに、動物の適正な飼養管理についての啓発を行い、動物による危害の未然防止と区民の生活環境の向上を図ります。 子供向けに動物愛護の小冊子を作成・配布、マナー向上のための糞取り袋の配布及び動物の適正飼養管理啓発のための講習会を開催します。 災害に備え、ペットの飼い主の防災意識を高めるために、防災手帳を作成・配布、講習会を開催します。	小冊子「ワンコからのてがみ」を2,000部作成し、区内全小学校1年生(13校)、動物病院やイベント等で2,000部を配布しました。 「ペットの飼い主のための防災手帳」を3,000部作成し、配布しました。 また、親子動物愛護教室及び防災を意識した犬の飼い方教室を2回開催し、63名の参加がありました。教室を通じて動物愛護思想の普及啓発を図ることができました。講習会後のアンケートの結果には、動物に関する知識が深まり受講してよかったとの参加者の声が多数寄せられました。	616,784	見直し・改善のうえ継続	夢見ヶ崎動物公園と連携した親子単位での講習会は、昨年より参加者の増加もあり盛況でした。動物愛護思想の普及啓発は、様々な場面で様々な市民に多角的に行うことが重要です。今後は、動物愛護思想の啓発冊子を配布するだけでなく、小学校へ出前講座などを用いて、積極的に普及啓発を実施することを検討予定です。今後も現状の事業形態を強化継続していきます。
(5) 放置自転車対策事業 (地域振興課)	駅周辺の良好な環境を整備し、緊急活動の障害を排除するため、自転車等放置禁止区域内において、放置禁止看板やのぼり旗を設置するとともに、キャンペーン等を継続して展開することで、自転車放置対策に関するマナーアップの啓発を実施します。	放置禁止啓発ののぼり旗を300枚作成し、希望する町内会に配布し掲出を依頼しました。また、平成20年7月以降計7回、土日放置自転車追放キャンペーンを警察、地元町内会、自治会と連携し実施した結果、駅前駐輪の減少がみられました。	1,031,940	見直し・改善のうえ継続	キャンペーン等啓発活動により、放置自転車数は減ってきているが、年度初めには転入者による放置自転車の増加が予想されます。引き続き街頭での積極的な啓発活動に努めるとともに、放置自転車追放の手段として効果的な撤去活動を行います。



親子動物愛護教室



放置追放キャンペーン

## 2 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり事業

事業名	目的及び内容	成果・達成度	決算額(円)	21年度以降の事業計画	21年度への展開方針
(1) 保健福祉情報発信事業 (地域保健福祉課)	保健福祉センターの保健・福祉サービス等の内容を記載した情報誌「保健福祉センターだより」を作成します。区内の全世帯に配布、及びホームページに掲載することにより、区民の保健福祉に関する理解を深めるとともに、利便性を高めます。	上半期・下半期版ともに、保健福祉センター各課・担当の業務内容や催し物のお知らせを掲載し、75,000部を作成、7・12月に区内の全世帯に配布しました。講座開催日や相談日などの具体的日程を掲載したところ、申込み件数が増加しました。区民から「保健福祉センターだより」を見て連絡しました。」というのが数多くあり、講座や相談などへの申込者も増加したなどの成果があげられます。	2,791,530	現状どおり	全世帯配布及びホームページ掲載を継続しますが、転入者への配布も進めて行くことにより、より一層保健福祉センター全体をアピールしていきます。
(2) 健康長寿推進モデル事業 (地域保健福祉課)	河原町地区の高齢者が地域のつながりを持ち、健康の維持増進を図ります。 身近な地域で行う住民主体の健康づくり活動を推進し、そのための環境づくりを住民と共に考えます。	自治会・社会福祉協議会との共催で、健康講座を6回開催、参加者数は151名、健康長寿まつりを1回開催、参加者・関係者述べ数は146名、推進教室を6回開催、参加者数は63名でした。推進教室終了後は、歩行グループが結成されました。 参加者の感想として、今後も身近な場所で仲間と健康づくりを続けたい等、好評でした。	485,062	見直し・改善のうえ継続	各自治会と共に、河原町在住のより多くの高齢者が、健康づくり活動に興味を持ち、参加者の声を生かして、住民主体の健康づくりの企画、環境づくりを整備していきます。



保健福祉センターだより



健康づくり推進教室



### 3 人を育て心を育むまちづくり事業

	事業名	目的及び内容	成果・達成度	決算額(円)	21年度以降の事業計画	21年度への展開方針
(1)	総合的な子ども支援事業(子ども支援室)	子育て家庭の育児不安を解消し、安心して子どもを育てることができる社会を目指して、地域全体で子育てを支援する環境づくりを進めるため、区内の子ども支援に係る機関の連携調整機能の強化を図るとともに、子育て交流の場の拡大、父親の育児参加の支援、子育て関連情報誌の提供等を行います。	ネットワーク会議は年3回開催しました。部会1(子ども支援推進会議)は年8回開催し、中学校地区別に虐待の予防のために事例検討等を行いました。部会2(みんなで子育てフェア)は年5回開催しました。「みんなで子育てフェアさいわい」の企画、準備、広報活動と当日(2月14日)の運営を行い、一般の参加者769人、支援者等195人の参加があり、子育て中の親子が地域の方々と触れ合うことができました。部会3(こどもの安全・安心)は年3回開催し、こどもが地域で安全・安心に暮らしていくための情報交換や自転車マナー標語コンクール等を行いました。部会4(こども情報ネット)は年14回開催し、0歳から18歳未満を対象にした情報紙を年3回、各10,000部作成・発行し、地域の行事や子どもの情報等を発信できました。各部会を通して、関係団体・機関による連携・協力が図られました。地域子育て支援センターふるいちばの毎月第3土曜日開所は、地域に定着してきました。また、3箇所の地域子育て支援センターで、親と子が触れ合える子育て講座を年9回実施しました。	5,911,142	見直し・改善のうえ継続	21年度もネットワーク会議・部会の中で情報交換、支援策の検討等を行い、子育て支援関係団体、委員の連携をより強めていきます。こども支援事業として、親子科学教室、親子コンサート、思春期講座、発達障害交流会や講座を実施します。



自転車マナー標語表彰式



子育てフェア(親子体操)

### 4 環境を守り自然と調和したまちづくり事業

	事業名	目的及び内容	成果・達成度	決算額(円)	21年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
(1)	花と緑のさいわい事業(地域振興課)	区内の緑化推進と区民の緑化意識の高揚を図るとともに、花と緑の潤いあるまちづくりを推進することを目的として、区民が行う緑化活動の支援や公共施設の緑化、緑化に関するイベントや講座を実施します。	緑化活動団体支援事業を2回実施し、区内の42団体に花苗8,870株・培養土1,410リットル・花の種18袋を提供しました。また、区庁舎前花いっぱい事業、公共花壇花植え事業を区民ボランティアグループ「さいわい花クラブ」や区内の小・中学生と年2回実施し、区内の緑化推進を図ることができました。また、あおぞら花市事業(730人来場)では、緑化関連のコーナーだけでなく、「さいわい街かどコンサート」と連携し、音楽コンサートを同時に行い、緑化イベントと音楽イベントを同時開催することで、効果的に参加者を増やし、それぞれ楽しんでもらうことができました。さらに、花と緑のエキスパート事業(計4回の講座を実施、12人受講)では、花の植え方などの基礎知識を学び、緑化の推進・緑化意識の高揚を図ることができました。	4,090,363	見直し・改善のうえ継続	植替え事業に関しては、事前にレイアウトを検討し、より効率的、かつ、きれいに花植えを実施できる仕組みを検討します。また、講座に関しては、地域で活動している緑化活動団体に対して出張講座を行うことで、より気軽に、多くの区民が参加できる仕組みを検討するなど、さらなる成果を上げるよう検討していきます。
	花と緑のさいわい事業(公共空間の緑化)(建設センター工事課)	道路敷などの市有地を活用した緑豊かな環境づくりに取り組みます。さいわい歩道橋下の既存の花壇に、ペゴニア、パンジー等季節に合った花を植え、区民に潤いと安らぎを与えます。	景観整備及び環境改善につながり、周辺住民に対しても理解を得られたと思われまます。年2回実施 第1回:7月着手8月完了(サルビア、ブルーサルビア、マリゴールド、ポーチュラカ、インパチエンス植付け 合計1,500ポット) 第2回:1月着手2月完了(葉牡丹、パンジー、スイートアリッサム、ノースポール植付け 合計1,500ポット)	756,000	現状どおり	引き続き年2回、植栽の植え替えを実施します。



公共花壇の植替え



パンジー・葉牡丹

## 5 活力にあふれ躍動するまちづくり事業

事業名	目的及び内容	成果・達成度	決算額(円)	21年度以降の事業計画	21年度への展開方針
(1) さいわいものづくり体験事業(地域振興課)	<p>科学技術関係機関やものづくり関連施設が集積した幸区の特徴を生かし、区内の施設を活用して、科学技術体験教室「さいわいテクノ塾」を開催することにより、青少年がものづくりの基礎となる科学技術を体験的に学ぶとともに、地域と施設との結びつきを図るきっかけとします。</p> <p>また、親子で参加する体験型のものづくり教室を開催し、親子のふれあいの機会を提供することにより、ものづくりへの夢を育む取り組みを推進します。</p>	<p>平成20年10月4日に親子対象の「ものづくり塾」を開催し、ペーパークラフトによる飛行機づくりを行いました。29名の小学生とその保護者の参加があり、アンケート結果では全員が「楽しかった」と回答しています。</p> <p>また、平成21年3月7、21、30日に開催したロボットづくり体験講座には、区内の小中学生22チーム53名が参加し、3月28日に実施したパソコンのしくみを学ぶ講座には、115名の応募者から抽選で選ばれた40名の小学生が参加しました。いずれの事業も、科学やものづくりへの関心を高めるきっかけづくりとなりました。</p>	1,099,492	見直し・改善のうえ継続	<p>講座参加者へのアンケート結果では、講座に対する評価は高く、事業の周知方法の改善及び事業内容の精査により、事業成果の更なる向上を図ります。また、平成21年度は、慶應義塾大学と子ども向け科学イベントを協働で実施することを検討します。</p>



さいわいものづくり塾



さいわい街かどコンサート

## 6 個性と魅力が輝くまちづくり事業

事業名	目的及び内容	成果・達成度	決算額(円)	21年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針
(1) 音楽のまち推進事業(地域振興課)	<p>身近な場所を会場として、良質な音楽を区民の方々に提供し、憩いのひとときを過ごしてもらうための「夢こんさあと」、音楽愛好家の方々への演奏を発表する機会づくりと、気軽に生の音楽を聴いて楽しめる環境づくりのための「さいわい街かどコンサート」、区内の音楽サークルの方々の演奏を通して、団体間や観客である区民との交流やネットワークの構築を目指す「さいわい区民音楽祭」などを開催することにより、区民が音楽に親しむ環境をつくり「音楽のまち・かわさき」を推進します。</p>	<p>夢こんさあととは、偶数月他8回実施し、各回平均で約200人が来場しました。街かどコンサートは、平成20年9月・10月・12月の3回実施で、各回200人以上が来場し、14組の出演者に演奏の機会を提供することができました。区民音楽祭は、平成21年3月に実施し、6組の出演者が演奏を通じて交流を行うとともに、650人の区民が来場し、地域で活動している音楽家の演奏を楽しみました。</p> <p>これらの音楽事業の実施により、広く区民に対し音楽に親しめる環境を作り、「音楽のまち・かわさき」を推進することができました。</p>	3,041,806	見直し・改善のうえ継続	<p>より多くの区民に対し、身近な場所で音楽に親しめる環境を提供し、継続して音楽によるまちづくりを推進していくため、事業内容や実施方法の精査を行うとともに、更に効果的な広報や、開催場所を検討していきます。</p>



さいわい区民音楽祭

## 7 参加と協働による市民自治のまちづくり事業

事業名	目的及び内容	成果・達成度	決算額(円)	21年度以降の事業計画	21年度への展開方針
(1) 地域コミュニティ活動の推進事業(地域振興課)	<p>町内会・自治会と協力して、スポーツ・防災防犯等テーマを決め、交流事業を実施するとともに、ITを活用した区町連の情報提供のためのホームページ開設を支援します。</p>	<p>区町連の情報提供のためのホームページの開設を行いました。</p> <p>また、各種スポーツ大会において、区長杯レプリカを作成し、区長から優勝チームに対してその授与を行いました。</p>	52,813	見直し・改善のうえ継続	<p>各種スポーツ大会での幸区シンボルマーク入り区長杯レプリカの授与についても、幸区の啓発に十分な効果があり、今後も続けていきます。また、ホームページの情報について、町内会・自治会の魅力を感じてもらえるように、内容の充実を図り、加入者の増加につなげていきます。</p>



町内会対抗ソフトボール大会

	事業名	目的及び内容	成果・達成度	決算額(円)	21年度以降の事業計画	21年度への展開方針
(2)	まちづくり推進事業 (地域振興課)	区民が自らの地域の課題について話し合い、合意形成を図るとともに、協働によるまちづくりを推進するため、第4期まちづくり推進委員会を運営します。	平成20年度は、前年度から始まった第4期の最終年にあたり、3つの部会を開催して活動を行いました。全体会を6回、運営委員会を11回開催して、委員相互の合意形成を図りました。 地域交通部会(17回開催)では、新川崎駅、鹿島田駅周辺の放置自転車対策を視野に入れた地域交通のあり方について検討しました。文化のまちづくり部会(17回開催)では、区内を巡る歴史ツアーの実施や歴史ガイドサインの設置提案を行いました。区民と行政をつなぐコミュニティ部会(24回開催)では、地域の緑化活動団体の活動状況調査やワークショップ等を行いました。 また、3月15日に「まちづくりフォーラム」を開催し、活動成果を区民の方々へ発表し、活動成果の区民への還元を行うことができました。	4,502,497	見直し・改善のうえ継続	活動成果をより広く区民に還元できるよう、効果的な運営方法を検討の上、実施していきます。
(3)	市民活動等支援事業 (地域振興課)	幸区内で営利を目的としない自主的な社会貢献活動を行っている区民や団体を支援するため、打合せ、印刷作業、交流等の場や情報提供の機能を提供する、区役所庁舎内の「市民活動支援コーナー」の管理運営を行います。 また、幸区河原町に設置している、区における市民活動支援拠点「幸市民協働プラザ」及び区内の官民情報を提供する「さいわいコミュニティサイト」の運営を行います。	「スペースcha-cha-cha」の印刷作業コーナーについては、利用登録団体も114団体となり、市民活動活性化の一端を担っているといえます。反面、「幸市民協働プラザ」は利用登録団体数が伸び悩んでいることから、知名度の向上を図っているところです。また、インターネットサイト「さいわいコミュニティサイト」は、一日平均5千件を超えるアクセスがあり、区内の市民・地域活動の振興に大きく貢献しています。	1,802,228	見直し・改善のうえ継続	スペースcha-cha-cha、幸市民協働プラザ及びさいわいコミュニティサイトの知名度と利便性の向上を図り、区内市民活動のより一層の活性化を図ります。
(4)	幸市民協働プラザ発信事業 (地域振興課)	河原町団地内に設置している「幸市民協働プラザ」を主な拠点に、区内の市民活動団体等と協働で事業を実施し、市民活動の活性化を推進します。	幸市民協働プラザを拠点とした市民活動のより一層の活性化を目的として、幸タウンカフェ通信を4回(各回10,000部)発行したほか、同プラザを会場として21年2月に「幸市民協働プラザ祭り」(参加者約120名)を、さらにはボランティア育成を目的とした講座を2回(20年9月・21年3月)実施しました。	1,118,407	見直し・改善のうえ継続	より多くの区民の参加を得るとともに、区内市民活動の一層の活性化を図るため、事業内容や手法を精査して、幸市民協働プラザを活用した区民と行政の協働を推進していきます。



さいわい歴史散歩



緑を巡るワークショップ



スペースcha-cha-cha



幸市民協働プラザ祭り



	事業名	目的及び内容	成果・達成度	決算額(円)	21年度以降の事業計画	21年度への展開方針
(5)	地域資源を活かしたまちづくり事業 (生涯学習支援課)	日吉地区を中心に、自然・環境・歴史・文化等の様々な分野で活動している地域の団体がネットワークをつくり、関係行政機関等と連携して、ワークショップ・学習・交流会の開催、ガイドマップの印刷、「歴史・環境・子育てガイド」の看板設置等を行います。日吉地区に点在する歴史的・文化的な地域資源のほか、自然環境などを地域で共有しあい、大切な資源として次の世代につなぎ、資源を継承していくことを目的とします。	歴史や郷土を知る学習会・子どものスタンプラリーを交えて地域を巡る2つのエコツアー学習会「加瀬山の昔ばなし」は参加者24名(6月26日)、「矢上橋の立川ロームと旧石器」は参加者22名(2月28日)、「ミニエコツアー加瀬山スタンプラリー」は参加者56名(8月5日)、「エコツアー」小倉→鶴見川→南加瀬は参加者64名(10月26日)でした。 お正月の伝統行事や料理を楽しむ行事「ひと月遅れのお正月」(七草粥、すいとん、お正月遊び)は参加者75名(2月1日)でした。 地域の情報を満載したネットワーク新聞は、7月18日、12月10日、3月10日(年3回)に各号4,000部発行しました。 地域の伝説を再現した紙芝居を制作(小倉池の玉手箱)しました。 日吉地区のタカラモノを掲載したガイドパネルを設置(日吉分館内及び横断幕形式)しました。 少しずつ活動していることが認知されてきており、地域からの期待感もあります。多くの事業展開により区民の地域の愛着を育む結果を生んでいます。	1,449,000	見直し・改善のうえ継続	環境問題や歴史の学習会、伝統行事の継承をテーマとして、区民が親しみを持って参加しやすい事業に取り組んできました。 今後も、地域の多くの機関などと連携し、地域に密着した区民の関心の高いテーマを取り上げて展開していきます。
(6)	区民に身近な区役所づくり推進事業 (区民課)	幸区に新たに居住される方へのパンフレット類を配布するため、幸区独自の封筒を作成します。 大規模マンション建設に伴う窓口混雑緩和のため、転入手続きのための資料作成と郵送を行います。	幸区への転入者に対して、「かわさき生活ガイド」「ごみカレンダー」等の情報誌を一括して入れて配布するため、転入者歓迎封筒を8,000部を作成し、来庁者の利便性に寄与しました。 大規模集合住宅転入者向け説明会資料を約1,400セット作成し、ゆうパックにて送付を行いました。	207,649	見直し・改善のうえ継続	区民からの要望を精査した上で、パンフレット配布の充実を図るとともに、転入手続きにかかる資料等の改善をすることで、更なる区民サービスの充実を目指します。
(7)	幸区情報発信推進事業 (企画課)	区民に対し、区民会議提言の実施に向けた取組状況や地域の課題解決に向けた参加と協働の取組状況等について、区ホームページへの掲載、さいわい広報特別号の発行等で広報します。また、区民会議提言にある資源集団回収については、リーフレットを作成・配布します。区ホームページは、使いやすくなりやすいページにリニューアルをし、情報発信力の向上を図ります。	区民会議の提言や協働推進事業の取組状況等は、区ホームページへの掲載や、さいわい広報特別号を55,000部作成し、平成21年3月11日の朝刊各紙への一斉折込や区内公共施設での配布で周知・啓発を行いました。資源集団回収リーフレットを9,000部作成し、区役所・出張所等で転入者に配布し、周知・啓発を行いました。区ホームページのリニューアルにより、新着情報など各課が迅速に情報を掲載できるようにしました。また、サイト内検索の設置やリンクの追加等により検索機能を強化し、利便性を向上させました。	1,360,275	見直し・改善のうえ継続	費用対効果等を検討しながら、地域の課題解決に向けた参加と協働の取り組みを促進し、区民会議の取組み状況を広める広報を継続実施していきます。区ホームページは、アクセシビリティを向上させるため、文字の大きさの変更機能を追加するなど改善していきます。
(8)	さいわいガイドマップ発行事業 (地域振興課)	区民生活に必要な情報を提供することを目的として、主に区内への転入者を対象として作成している「さいわいガイドマップ」の地図面や公共施設の一覧、バス路線図などの情報を最新の情報に修正するとともに、情報面の内容についても精査の上、改訂・増刷します。	川崎駅西口周辺の道路整備、マンション建設などの開発事業をはじめとして、地図情報を現状に即した最新の情報に更新しました。また、情報面においては、新たに区役所内の問合せ先一覧を掲載し、歴史や事業紹介などの情報の見直しとともに「さいわいガイドマップ」がより利便性の高いものとなるよう、改訂を行いました。幸区区民アンケート調査によると、さいわいガイドマップについて約87%の転入者は必要であると答えており、こうした地域情報、生活情報に対する高いニーズに応えることができました。	882,000	見直し・改善のうえ継続	新たな住人となる転入区民に対し、区の概要や歴史、事業などを知らせ、自分の住む地域に愛着を持つきっかけとなる事業であるため意義深く、今後も、川崎駅周辺や新川崎地区での開発事業が続いており、現状に即した地図の改訂・増刷を行っていきます。



ひと月遅れのお正月  
(小倉わんぱく広場)



転入者歓迎封筒



区ホームページ



さいわいガイド  
マップ

	事業名	目的及び内容	成果・達成度	決算額(円)	21年度以降の事業計画	21年度への展開方針
(9)	さいわい区民アンケート事業(企画課)	<p>市民生活に関するいくつかのテーマについて、幸区民の生活意識や行政に対する意識を調査し、区政運営や政策立案などの参考資料とします。</p> <p>・調査対象 第1回:平成20年4月中に、幸区に転入した男女300人 第2回:区内在住の20歳以上の男女2,000人</p> <p>・標本抽出 ともに無作為抽出 ・調査方法 ともに郵送回収法 ・調査期間 第1回:平成20年7月8日～7月25日 第2回:平成20年12月4日～12月25日</p>	<p>第1回調査は300標本のうち114標本の有効回収があり、有効回収率は38.0%となりました。また、第2回調査は2,000標本のうち986標本の有効回収があり、有効回収率は49.3%となっており、効率的・効果的な調査を実施することができました。</p>	1,486,537	見直し・改善のうえ継続	<p>平成20年度のアンケート結果は、平成21年度の第2期区民会議での審議の参考資料とするなど有効活用を図ります。</p> <p>平成21年度以降も調査項目等の見直しを行い、より区民の意識を反映されたものになるよう検討を行い、アンケートを継続して実施していきます。</p>
(10)	幸区データブック作成事業(総務課)	<p>様々な統計データや情報に基づいた幸区の課題及び特徴の整理を行い、見やすく親しみやすいデータブックを作成し、地域の特性・実情をアピールします。幸区の案内パンフレットとして活用することを目的とします。</p>	<p>幸区のデータを見やすく親しみやすく編集し、幸区の案内パンフレットとして活用するため、2,000部作成しました。また、幸区ホームページにフルカラーでアップして、広く活用できるものとなりました。</p>	189,000	見直し・改善のうえ継続	<p>平成21年度は、データブック作成に加え、より詳細な統計データを体系的に整理して、区民会議等に統計情報を提供するために、幸区データブック詳細版の更新を行う予定です。</p>
(11)	幸区提案型協働推進事業(企画課)	<p>地域の課題を地域自ら解決していくことを目指し、区民会議提言等の実施手法のひとつとして、地域の課題解決に資する事業を市民活動団体等から公募して、協働型の事業委託を行います。</p> <p>身近な地域での高齢者の健康づくり:「のびのび体操」「男性シニアの食と健康講座」 身近な地域での子育て支援:「楽しく子育て@ふるいちば」</p>	<p>「のびのび体操」「男性シニアの食と健康講座」「楽しく子育て@ふるいちば」の3事業を実施し、それぞれ延べ87人、100人、824人の参加がありました。</p> <p>また、参加者の満足度をアンケート等により把握し、いずれも高い結果が得られました。</p>	1,880,711	見直し・改善のうえ継続	<p>次年度は、「健康づくり」テーマの年齢層を幅広くするほか、予算の拡充、委託金額の下限の引き下げを行い、地域で取り組みやすくします。</p>



区民アンケート調査結果概要版



さいわいデータブック2009



のびのび体操



楽しく子育て@ふるいちば

8 その他経費

(1)	その他経費	—	—	1,603,411	—	—
-----	-------	---	---	-----------	---	---

決算額  
43,268,844